

## 2月12日の例会記録 (No.2126)

★出席報告 上原出席副委員長  
会員数 32名 (内出席規定適用免除 15名) 出席者23名, 欠席者 4名  
出席率 85.19% make-up後の出席率 8.14%

★欠席者 難波君, 清水君, 岡原君, 森安君  
★ゲスト&ビジター 本日はおられません。

### ★会長挨拶&報告 木下会長

中国国家衛生健康委員会は16日(日)朝に新型コロナウイルスの感染による中国全土の死者が1665人で武漢市, 四川省, 湖南省と拡大しています。感染者も累計で6万8500人と急増しています。日本国内でも15日(土)で, 新型コロナウイルスによる肺炎 (COVID19) の流行へ転換し, 北海道, 千葉, 神奈川, 愛知, 和歌山へと拡大。国内感染は338人 (チャーター機帰国者13人, クルーズ船乗船者285人) になり, そのうち1人 (海外・武漢での1人を除く) が死亡しています。特に和歌山では院内感染が確認されています。最初の報告は武漢市眼科医 (2月7日死亡) で, 昨年12月30日でしたので, 約50日間で大流行しています。

全国各地で「梅まつり」が開催されています。2月上旬から河津桜 (伊豆・河津町) はソメイヨシノの品種に比べ濃い目のピンク色が特徴で, その後, 各地で「梅の花」が開花します。暗い風潮を吹きとばし, 明るくやりましょう。私の庭にも黄色で香りの良い「蠟梅 (クスノキ目ロウバイ科)」が開花しています。因みに梅は「バラ目バラ科」に属しています。どちらも冬の花として桜に先がけて開花します。

○今年3月の台中東区RC周年記念式典への参加は中止します。新型コロナウイルス肺炎が終息するまで訪台を控える旨を伝えました。

[最近のでき事 (8日~16日)] 8日(土): 中国・武漢市で入院中の日本人男性 (60代) が死亡。 11日(火): 3度の日本一の監督・野村克也(84)が死亡。通算3017試合。657本塁打。三冠王2回。 13日(木): ①首相のやじ (意味のない質問) で陳謝。②マスク増産へ。 15日(土): 深海魚・リュウグウノツカイ2匹が越前町大樟漁港で確認。「深海魚の出現は地震の前兆」ともいわれている。 16日(日): 新型コロナウイルス肺炎は流行不可避。和歌山では 院内感染がみられる。

### ★幹事報告 岡本幹事

1. 連絡事項  
○ロータリー手帳 (1000円) は5月中旬に配布できます。  
○難波会員が虫垂炎で入院されています。

### ★米山BOX&百万ドルBOX

米山BOX 1,710円 (累計 72,022円)  
百万ドルBOX 1,854円 (累計 54,962円)

### ★委員会・同好会報告

本日はありません。

### ★スマイル 山崎親睦活動副委員長

河口君 上原様, 卓話楽しみです。 木下君 本日の卓話, 上原君よろしく! 拝聴, 楽しみにしております。 岡本君 上原さん, 本日の卓話楽しみです。よろしくお願ひします。 合計 3,000円

### ★プログラム 黒川プログラム委員

明後日 (2月14日) は「バレンタインデー」です。日本におけるバレンタインデーは「女性から男性へチョコレートで愛を伝える日」とされて久しいですが世界におけるバレンタインデーは男女がお互いに愛や感謝の気持ちを伝えあう日です。欧米ではメッセージカードを交換したりしますが, 合わせて男性から女性に花 (主に赤いバラ) を贈ることが最もポピュラーです。大切な人に花を贈る日として定着しています。

そもそも「バレンタインデー」の始まりは古代ローマ時代に遡ります。戦争中の古代ローマ, 時の皇帝クラウディウス2世は兵士が家族や恋人を恋しがって軍の士気が低下しないように兵士たちの結婚を禁止していましたが, キリスト教司祭・聖バレンタインは結婚を望む兵士のためにこっそりと結婚式をとり行っていました。このことがローマ皇帝の逆鱗に触れ, 269年2月14日に聖バレンタインは処刑されてしまいました。その後ローマでは2月14日に殉教した聖バレンタインが愛する男女の守護聖人となり, 春の訪れと聖バレンタインのエピソードから14世紀には今のようになりました。バレンタインデーにおける最も重要なアイテムは「花」だそうです。女性の職場に花が届きます。

本日のプログラム 2020.2.19 No.2127  
「インドカシミールを訪ねて~恐怖の海外旅行体験談~」  
神谷道規 会員

次週のプログラム  
「留学帰国報告」  
岡山学芸館高校 生徒6名

四つのテスト  
言行はこれに照らしてから

①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

岡山備南ロータリークラブ  
国際ロータリー 第2690地区第11グループ

■設立 / 1975年(S50)10月21日  
■例会日 / 水曜日 12:30~13:30  
■例会場 / 〒700-0984 岡山市北区桑田町1-13 メルパルク岡山  
TEL 086-223-8100 FAX 086-223-9152  
■事務所 / 〒700-0975 岡山市北区今8丁目14-28 合同ビル2階  
TEL 086-245-3318 FAX 086-245-3080  
Eメール binan-rc@mx91.tiki.ne.jp

卓話「花産業のこれから」 上原和成 会員

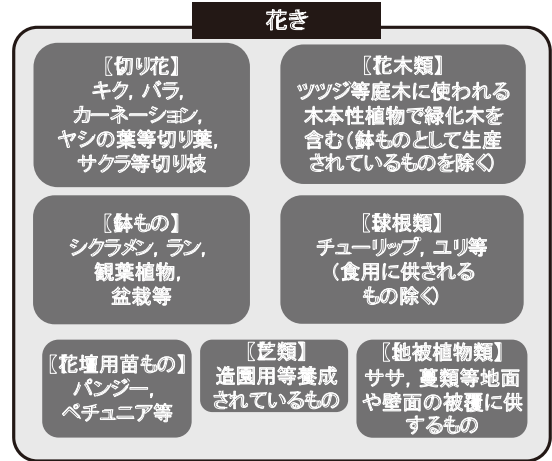
「花卉（かき）の現状について」と題して農林水産省が平成28年6月23日付で振興セミナーを開いており、その資料がありました。お問い合わせ先は「生産局花き産業・施設園芸振興室（03-6738-6162）」です。



目次

はじめに 花きの定義・・・ 1  
 1 花きの特性・・・ 2  
 2 花きの生産・・・ 3  
 3 花きの流通・・・ 13  
 4 花きの輸入・・・ 14  
 【参考】国産シェアの奪還・・・ 17  
 5 花きの消費・・・ 18  
 6 花きの国際的評価・・・ 22  
 7 花きの輸出・・・ 24  
 8 オリンピック・パラリンピックに向けた取組・・・ 27  
 【参考】次世代施設園芸・・・ 29  
 【参考】花きの振興に関する法律・・・ 35  
 【参考】国産花きイノベーション推進事業の取組状況・・・ 37  
 【参考】都道府県別花き産出額・・・ 38

【花きの定義】 「花き」とは観賞用に供される植物をいう。具体的には切り花、鉢もの、花木類、球根類、花壇用苗もの。芝類、地被植物類をいう。



花きの特性

- 食生活の範囲の中で選択される野菜・果物と異なり、花きは冠婚葬祭、贈答用、装飾等、様々な使われ方をしている。
- 使われる用途、場面によって、種類、品種、色等が細かく異なる等、花きは、極めて嗜好性が高い品目。
- このため、花きの振興対策を行うにあたっては、他の野菜、果物等の品目以上に、細かいニーズをもとにした消費側（川下側）からみた対策を講じていく必要。

【国産花きイノベーション推進事業】

- 本事業により、43都道府県で、花き業界関係者が一体となった協議会設立。
- 全国で関係者の連携、物流効率化、フラワーコンテスト、花育活動等を実施。
- 花き振興法（仮称）とともに園内花き産業の活性化を推進。

国産花きイノベーション推進事業

1.花き関係者の連携

- 花き振興方策等の検討
  - ・県及び花き業界関係者が一体となった協議会において、地域の花き振興策等について検討（43都道府県）
- 技術交流会の開催
  - ・リレー出荷等、産地間連携を推進するため、他県産地の生産省等との技術交流会を開催（北海道、福岡県等）
- 生産技術マニュアルの作成
  - ・他県産地とのリレー出荷を行うにあたり、品質向上・均一化を図るため生産技術マニュアルを作成（北海道、長崎県等）

2.国産花きの強みを活かす生産・供給体制の強化

- 日持ち性向上対策の実証(全国推進事業)
  - ・切り花の日持ちを向上させるための採花後の管理方法、出荷方法、日持ち保証販売等の実証（全国35産地・小売30社以上参加）
- 物流効率化の検討・実証
  - ・統一規格の出荷箱の試作・試験利用の検討・実証（埼玉県、香川県、長崎県等）
- 園芸資材リサイクルシステムの検討・実証
  - ・使用済みプラ鉢、培養土のリサイクルシステムの検討・実証（新潟県、愛媛県）
  - ・鉢物（バラ）のリサイクルシステムの検討・実証（山口県）

3.国産花きの需要拡大

- フラワーコンテスト、展示会等の開催
  - ・大型商業施設での花の祭典、アレンジコンテスト等の開催（宮崎県）
  - ・テーブルウェアフェスティバルでのテーブル装花の展示・PR（東京都）
  - ・ウェディングブーケデザインコンテスト（秋田県）
- 学校・福祉施設等での花育体験推進
  - ・小中学校等でのフラワーアレンジメント教室、寄せ植え教室（茨城県、愛知県、鹿児島県等）
  - ・特別養護老人ホームでのフラワーアレンジメント教室（佐賀県等）
- 花文化と併せた国産花きの情報発信
  - ・フランスで行われる観光展において、県産花きを使った「寄せ植え華道」作品を展示・PR（岐阜県）

都道府県別花き産出額（H24年）

岡山（30億円） 洋ラン（鉢）、バラ、切り枝、(県の花) モモ  
 香川（34億円） キク、花木類（鉢）、カーネーション、(県の花) オリーブ  
 広島（30億円） キク、洋ラン（鉢）、バラ、(県の花) モミジ

- 今週のメニュー ○ピラフ（サラダ添え）
- 次週のメニュー ○未定

会長方針 「自分をもっと売り込みましょう、そして会員増強に繋げましょう。」

役員・理事  
2019.7~2020.6

- 会長 木下修二（役員）
- 副会長 黒川善和（役員）
- 幹事 岡本真樹（役員）
- 副幹事 高旗博文
- 会計 岡原洋介（役員）
- S A A 黒崎政彦（役員）

- 親睦活動 高戸賢一（理事）
- クラブ奉仕 黒川善和（理事）
- 職業奉仕 上原和成（理事）
- 社会奉仕 吉永敏貴（理事）
- 国際奉仕 河口亮一（理事）
- 青少年奉仕 山崎哲也（理事）
- 直前会長 恩田英宜（役員）
- 会長エレクト 黒川善和（役員）